

R6年度 「ゆめはまミーティング＜要支援＞」 事後アンケート（自由記載）

(R6.6～R7.3)

普段、利用者様をご支援する中で、多職種や地域包括支援センターからアドバイス、助言などを受けたいと思われることがあれば、ご記入ください。

皆様の貴重な時間をいただき、ありがとうございました。
多職種の皆さんが資料を読み込んでいただいていたのがご発言の中から感じ取られ、とてもありがたく感じ入りました。
薬剤師さんのご意見、圏域包括の意見から、応援会議の時ににも同様の意見がいただけてあったとのことでしたので、課題が継続していることを再認識できました。何かしらのアクションがとれればと考えます。

ケースについて多職種の方からの専門的な、また客観的なアドバイスをいただけてとてもよかったですと思います。
機会があれば、MCIの方の短期集中リハビリ等について皆さんの意見を聞かせてもらいたいです。

利用者様と長く関わる中で漫然とサービスを提供してしまうことがあります。そのうち「この人はこういう人なんだ」と決めつけてしまっている部分が多くなるように感じます。ミーティングで多職種の皆さんのご意見を頂き、視野が広がるような感覚でした。とても貴重な機会だと思います。ありがとうございました。

担当ケアマネが相談したい内容についてを中心に議論できると良いと思う。
参加者それぞれの疑問や気づきについて活発に意見が出るのは良いが、論点がまとまらずに担当ケアマネが本当に聞きたいこと、悩んでいることについて有益なものになっているのか不安。幅広い視点は必要と思いますが余計に悩みが増えているのではと思いました。

専門職からのアドバイスはとても納得できるもので勉強になりました。
もう少しケアマネやアドバイザー同士でもやり取りができる会議になればいいなと思いました。

ゆめはまミーティング要支援で2回目の司会でしたが、やはり難しかったです。
当然ではありますが本番中に新しい情報提供をCMさん等から頂くことで、ディスカッションのゴールが事前想定と全くことなる方向に流れてしまうので、会議自体の流れを的確にとらえながら、アドバイザーへ振る順番も変え、ある程度のコントロールをする必要がある為、もっと研鑽が必要に思いました。
また、そもそも司会の役割としてアドバイザーさんに振った方がいいのか振らなくてもいいか…悩みどころでもあります。
今後も試行錯誤してやっていきたいと思えます。ありがとうございました。

多職種や専門職の方からのアドバイスは自分には気づけなかったことが明確になり大変参考になりました。また支援する中で何が一番本人家族にとって必要なことなのかを再確認することが今後の課題と受け止めました。久しぶりのミーティング参加でまとまりのない発表となりましたが皆様のご支援を受け、今後もより良い判断力や問題解決できるような資質を身に着けたいと思えます。また一人で抱え込むのではなく今日のご意見でもありました、専門職の方に任せることも必要だと感じました。
高齢化社会となりますますます介護保険を利用される方が多くなっており、また介護を受ける方も多様化しています。8050問題や虐待など問題のある利用者の方の支援などまた機会がありましたらディスカッションをお願いしたいと思います。

薬剤師の居宅療養についてどのくらい患者さんや多職種の方に理解されているのかを知りたい。

R6年度 「ゆめはまミーティング<要支援>」 事後アンケート（自由記載）

（R6.6～R7.3）

普段、利用者様をご支援する中で、多職種や地域包括支援センターからアドバイス、助言を受けたいと思われることがあれば、ご記入ください。

アドバイザーとして出席していても学びが大きくあるので有意義だと思っています。

一方通行ではなく、双方向の意見交換が出来ていたと思います。
インフォーマルについて、つどいさん全市的にお願い出来るようなところについての情報提供があり、また、包括内で共有していきます。

様々な視点でアドバイスを頂き新しい気づきにつながりました。
それぞれの事業所でアセスメントをしていますが、このように情報を整理するとお酒を飲んでいることなどの新しい情報を得ることができました。訪問時には計画書に基づいたモニタリングをしますが今回アドバイスいただいた部分では、病状が安定していると捉えていましたが、その情報も常時確認をしていくことが大切であると気づきにつながりました。地域の介護を考えていく上で大切なミーティングであると感じました。ありがとうございました。

アセスメントを詳しく細分化しないと、保険外の社会資源と結びつけることが難しいことがよく理解できました。
ただ、保険外の事業所に相談しても受け入れてもらえなかったり、料金面で上手くマッチングしないケースもあるため、その点は課題に感じます。
保険外の事業所が、もっと気軽にゆめはまミーティングに参加できる仕組みがあると、お互いに地域課題が共有できて良いのではないかと思います。

会議の中で地域による社会資源の不足の差がある事。集いの場などの利用が地域で生活する上で重要なポイントになる。と改めて勉強させて頂きました。
そんな中CMさんは将来的な視点でも支援してらっしゃると感じました。

色々な視点で考えるよい機会になった
資源開発や新しい形のサービスを考えていく必要性を感じた

作業療法士・理学療法士などの専門知識の参加者もいらっしゃれば、在宅生活のアドバイスを確認していけると思えた。

事前打ち合わせでは、意見交換が深まるのか若干心配な部分もありましたが、当日は皆が発言し非常に有意義なミーティングになった印象です。時間は、40分以内でおさまると良いかなと思います。ありがとうございました。

たとえ担当者会議であってもせいぜい3から4事業所が揃うぐらいで、今回のミーティングのように公的なサービスの専門の方なども交えた話し合いはなかなか行えないので、良い機会だったと思います。
少し時間が押してしまったので、もう少し掘り下げた話ができる時間が欲しかったかと思います。

即時何かしらの目に見える成果・変化を期待するミーティングではなく、今後の参考に助言を貰えるミーティングとして今後も定着していくと良いと思います。

自分にはない視点からご意見をいただけるので、違う方向からアプローチができそうだなと思ったり、新たな課題が見つかったりしたので参加させていただいて良かったです。ありがとうございました。

意見交換は、新しい発見に繋がります。

R6年度 「ゆめはまミーティング＜要支援＞」 事後アンケート（自由記載）

(R6.6～R7.3)

普段、利用者様をご支援する中で、多職種や地域包括支援センターからアドバイス、助言などを受けたいと思われることがあれば、ご記入ください。

この度は、対面方式の会議が初めてということで見学という立場で参加させて頂き、ありがとうございました。
担当させて頂くことが決まると、すぐにサービスに繋がらないといけないと思いがちですが、時には時間を掛けてご本人の意向を引き出すことも必要だと忘れずに関わりを持ち続けたいです。
医療職の方々のご意見から、ケアマネはご本人やご家族の病識に応じて働き掛けを担うことが出来る立場にいることを再確認致しました。他職種連携を図り、ご本人の自立支援を心掛けて業務に当たります。
貴重な体験をありがとうございました。

施設入所のためできる事がマンネリ化したり、外との繋がりが希薄になっていました。初めはドキドキしていましたが、皆さんリラックスできるよう配慮していただいたので、話ができ色々気づくことができました。参考にさせていただきます。ありがとうございました。

自己申告で、変わらないですと言われる方の支援については医療目線からのサービスに繋ぐ事が遅れると思われます。色々な目線から介護サービスを検討しサービスに繋げていけるようにしていければと思います。

時間が長すぎの負担ですし、短すぎるのも中途半端な物足りなさを感じるの時間設定の難しさを感じました。

オンラインより活発な意見交換や議論ができ、大変良かったと思います。ただ、2事例で1時間半の時間を要するとは思わず、後ろの予定に影響が出てしまいました。進行の円滑さや時間短縮、効率化は一樣ではないと思いますが、予定終了時刻や予定終了限界時刻を明示していただきたいと思いました。よろしくお願いいたします。

●本人や家族も参加できれば良いと思いました。
●事前に資料を配布していただけると良かったです。他事業所の書類を拝見する機会がないので、確認することで新たな気づきを得たり、対象理解が深まるなどメリットがあると思いました。

地域資源について知る事ができて良かったです。地域資源についての相談先の方を知る事ができました。
薬の事ももっと注意していく必要性を感じました。
ありがとうございました。

障害の方の、車の運転免許のことなど、勉強になりました。

多職種の専門職の方達から自分にはない視点での助言を頂く事で、自分の足りない視点に気づく事が出来ました。今後の支援に活かして行きたいと思います。

色々な視点でご意見がいただけて、とても有益でした。

事例提供のケアマネさん、事業所さんに各専門職アドバイザーさんありがとうございましたm(_ _)m特に司会の包括さん、お疲れ様でした。事前準備もしっかりされていて良い進行・まとめでした。また場数踏んで共に頑張っていきましょう！

R6年度 「ゆめはまミーティング＜要支援＞」 事後アンケート（自由記載）

（R6.6～R7.3）

普段、利用者様をご支援する中で、多職種や地域包括支援センターからアドバイス、助言などを受けたいと思われることがあれば、ご記入ください。

（よかった点）・コンパクトなレイアウトでアットホームな感じ雰囲気は良かったと思う
（改善点）・地域課題の抽出や地域づくりもミーティングの目的であることを考えると、生活支援Coが2ケースとも不在で代理コメントもなかったことは良くないと思う
・発言者にかなり偏りがあった。出席者の誰もが発言できる工夫が必要だと思う

今回、生活保護を受給されている緊急連絡先のない方へのACPIについて、支援上で悩んでいることを相談させて頂きました。
ACPIについては介護予防支援らしくないテーマではないかと心配していましたが、サービス担当者会議だけでは多職種と共有して煮詰めにくい内容でもあった為、担当者会議開催前にこうした場を頂いて今後の支援を話し合えたことはとても良かったです。
アドバイザーの皆様から頂いたアドバイス（①DNAR意思確認のツールの紹介、②多職種共同で聞き取りを行う、③生活保護ワーカーにも参加を要請する等）を取り入れながら、今後の支援に活かしていきたいと思っています。

今回、久しぶりの開催で有意義だったとかんじています。その人への理解がどこまでできているのかはおおきな鍵になると思います。初回・今と本人像を把握できかにかかっています。その取り組みかたについて話し合えたらよいかとかんじています。